

耐久高等学校同窓会報

耐久



NO. 35

炎の祭典

10月18日

松明かけ
濱口梧陵翁の
遺徳を偲ぶ

ごあいさつ

同窓会長 大西義弘 (高16期)



故郷やどちらを見ても山笑う 子規

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかにお過ごしのことと存じます。

今年 は 羊年 です。羊は群れをなし、家族の安泰と平和を表すといわれており、美しい・善・義などの漢字があります。また、干支の「未」は、未完成・未解決・未来などに使われ、この字は、「まだ・・・していない」という意味があります。このように、本年は常に前向きに前進して事に当たり、良いことが次々に起こる年にしていきたいものです。

さて、同窓会役員も新体制になり、早くも1年5ヶ月が過ぎました。今年は、「本部及び有田耐久会総会」の年であり、また「インターハイ近畿総体」や「紀の国和歌山国体」も開催されます。関東・関西耐久会の皆様は、この機会に是非、故郷和歌山にお越し下さい。

今、本校では校長先生はじめ先生方が一丸となり、「耐久リバース」の学校改革に全力を上げ取り組んでおられます。同窓会役員と致しましては、出来る限りの応援と協力をする所存であります。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓会となるよう努めて参りますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

耐久高校マンスリータイムズより

中核生徒育成について

本校学校改革(耐久リバース)の柱に、耐久高校に誇りと自信を持ち、学校を支え、リードする気概を持った生徒(中核生徒)を育てることを掲げています。その取組のひとつとして、部活動生や生徒会役員による、「早朝校内清掃活動・挨拶運動」を10月から行っています。毎週月曜日(休日の場合は翌日)実施で、生徒の元気な声が一週間の始まりを引き締めています。

ロングハイキングについて

10月10日(金)・11日(土)、35回目となるロングハイキング(2年生)が行われました。この学校行事は昭和55年から続く、耐久スピリッツを継承する伝統行事です。初日には、世界遺産の高野山でのフィールドワークの後、夜は宿坊での「クラス交流会」で団結を深めました。明朝、5時半に起床、朝食後、宿坊を7時に出発し、高野山山門から花園温泉を経由、有田川町久野原までの32・8kmの道のりを、最速の生徒は4時間程で踏破しました。天候に恵まれ、自然豊かな山林を歩くロングハイキングには絶好の日和となりました。

た。このロングハイキングには、清水校長先生も参加し、見事、完歩されました。地域や保護者の方々のご協力のおかげで、この行事をスムーズに運営できたことに感謝いたします。



人権学習講演会について

10月20日(月)、全校一斉の人権学習講演会が開催されました。今年は、本校卒業生で大阪家庭裁判所調査官 松下(山崎)礼子さん(高46期)を講師としてお招きし、「家庭裁判所調査官が会える人達を通じての、少年事件、家庭問題等、今日の社会的な問題や人権問題」についてご講演いただきました。家庭裁判所調査官という日ごろ馴染みがない仕事について、具体的に紹介いただき、進路や職業理解の面でも視野が広がった講演会となりました。



有田耐久会

会長 吉松敏隆
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985
耐久高等学校・同窓会事務局
Tel 0737-62-4148

関東耐久会

会長 大野博司
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ 桜パンケット
Tel 03-3359-9520

関西耐久会

会長 岡宏牟
幹事長 地引民子
〒563-0017 大阪府池田市伏尾台3-8-1
Tel 072-753-1219

和歌山耐久会

会長 田辺善彦
〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

支部連絡先



左から 清水校長・瀬藤進一氏・健氏・悦二氏・大西会長

瀬藤象二氏ご子息来校

元東京大学名誉教授・文化勲章受章者で、本校の玄関に展示されている瀬藤象二先生（旧中2期）のご子息瀬藤進一様とそのご長男の健様が、9月20日（土）、神奈川県より来校された。

本校では、昭和62年より現在まで先生が受章された文化勲章を大切に保管し記念式典等で展示・公開してきた。

この度、ご高齢（96才）になられた進一様名義の預り証を健康名義に変更して、清水校長より手渡され、今後もこれまで同様大切に保管し活用させて頂くことをお約束した。

松明かがけ―稲むらの火祭り―

平成26年10月18日（土） 夕刻

大西義弘同窓会長 吉松敏隆有田耐久会会長をはじめ、同窓会員十数名が松明を手に「稲むらの火祭り」に参加した。

夕闇迫る中、かがり火から点火された松明が次々と列を作りながら進み始める。広川庁舎を疾風太鼓の勇壮な響きに見送られながら出発し、町なかを静かに進んでゆく松明の長い列。炎が揺れ、煙が柔らかくその上を歩く。懐かしい色合いで織られた幻想的な光景。

広八幡神社の手前の田んぼでは、積み上げられた稲むらに火が点けられた。燃え上がる炎まさに火祭りのクライマックス。濱口梧陵翁の熱い思いが歓声と共に全身を包んだ。松明奉納後、心も温まる「稲むらうどん」をいただいた。「ごちそうさまでした」

初めての参加でしたが、多くの方々の参加



と周到な準備に支えられて十二回目を迎えられることに感謝し、この火祭りの意義の深さを改めて感じました。

池永 義子
（高21期）

同窓会活動報告

2014(H26)年

9. 13 耐久高校文化祭への参加
- 20 瀬藤氏来校
10. 5 関西耐久会総会（ホテル大阪ベイタワー）
- 18 稲むらの火祭り参加
11. 25 四役会
12. 2 会報委員会
- 15 会報委員会

2015(H27)年

1. 3 組織強化支援事業高 35 期同窓会（橘家）
- 3 組織強化支援事業高 63 期同窓会（橘家）
- 30 本部・有田耐久会役員新年会
2. 2 会報委員会
- 27 卒業生クラス代表との懇談会
3. 2 第 66 回卒業証書授与式

「稲むらの火祭り」にボランティア参加
10月18日（土）夕刻、広川町において「稲むらの火祭り」が行われました。

平成14年から毎年実施されているこの行事に今年は、本校軟式野球部員（6名）が運営ボランティアとして参加し、ゴール地点の広八幡神社で参加者に振る舞われる「稲むらうどん」コーナー整理にあたりました。混雑した境内での子ども達の安全確保等が目的で、共助の精神を実感する良い機会となりました。



同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!



有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

金山寺みそ 醸造元
③ 垣内みそ店
垣内 欣久（高15期）
本店 湯浅町別所 342-1
TEL (0737) 63-5855
和歌山店 和歌山市里 45-1
TEL (073) 462-7003

YOMIURI
IC
読売I.C.湯浅
池辺 正晴（高15期）
湯浅町港区 2894
TEL 63-2696 FAX 63-3517

大橋歯科・矯正歯科
大橋 寛治（高14期）
大橋 一範（高46期）
予約制 TEL (0737) 63-6480
有田郡湯浅町島ノ内 1267

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）

特集

89歳現役ランナー

上野山 馨



平成26年10月26日(日)、第4回大阪マラソンが開催され、汗ばむ陽気のなか約3万人の市民ランナーが参加しました。

組織委員会によると、今回の大会には過去最高の14万5473人が応募し、抽選で2万9942人がフルマラソン(42.195km)、2039人がチャレンジラン(8.8km)に挑みました。当日の大阪市の最高気温は26・



1度。市消防局によると、50人ほどが熱中症や脱水症で病院に運ばれたようです。

フルマラソン出場選手での最高齢は89歳。和歌山県有田市在住の上野山馨氏です。「健康一番、寿に駆ける」と、背中に書いた赤いランニングシャツの姿で颯爽と駆け抜けて、見事に6時間42分7秒のタイムで元気にゴールされました。表彰式では、今大会から新設された最高年齢で完走された方の名誉を讃える『スーパージニア賞』を受賞されるとともに、年齢別の「85歳以上の部」で優勝されました。

平成25年10月にも大阪マラソン、一ヶ月後の11月には神戸マラソンに出場し、すべてを完走され、85歳から90

歳の年齢別で優勝されました。「80歳以上の完走はほとんど無いのに……」と大会関係者は大変驚いたそうです。

上野山氏は、和歌山県職員として、薬剤師の業務を担当されていきました。ランニングを始めたのは、薬剤師として病院に勤めていた

40代の頃からだそうで、同じ病院に勤務していた医師に誘われ、最初は短距離を走っていました。1km、2kmと距離を延ばしていきまし

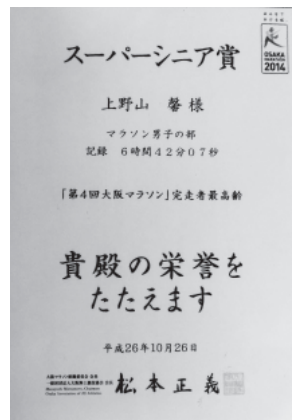
た。60歳で退職した後初めてフルマラソンに挑戦しました。

その後、北海道から沖縄まで日本国内だけでなく、オーストラリア、ニュージーランド、ハワイなど外国で開催された大会への出場は40回以上に上り、すべて完走。64歳の時には、100kmを走る『ウルトラマラソン』に初参加し、その後10回も完走され、友人は敬意を込めて『怪物』と呼んでいます。

なぜ、マラソンにひかれるのですかと尋ねますと、「距離が長いほうがおもしろい。ゴールしたときは気持ちがいいから」、「走るのを苦しいと思ったことはないし、走らない方が身体が悪くなりそう。くせみたいなもの」と話されました。今では「健康のために走っているんやよ。今年も走れたら健康の証やよ」とマラソンが、健康診断の代わりとなっています。

完走のためには日々のトレーニングは欠かせません。毎日、両足首に1.5kgの重りを付けて椅子に座り、約1時間半をかけた1万回、もも上げトレーニングをします。

「朝早く起きて外に出て、明るい月を見ながら風を感じて走るのは気持ちいい」と、深夜3時頃から一日20kmを



走り、大会が近づくと距離を伸ばし、時には40km近くを走ります。毎朝のトレーニング中、必ず立ち寄る場所があります。9年前に亡くなられた奥様のお墓です。奥様が生前の時は、いつも自転車と一緒にいて応援していました。「家内は今も一緒にいてくれてる。真面目な人やつたから感謝しています」と、今では「奥様の思い出の写真を必ず持つて走っています」。

先日、上野山氏をお訪ねした時、「老化は止められないけど、体を動かすことで老化を遅らせることができると思うんよ。それから今は若い人と同じだけ付き合うようにしているんよ。私の現在の夢は、90歳でフルマラソンに挑戦することですよ」と語る表情は、実に生き生きと輝いていました。

プロフィール
・大正14年8月6日有田市生まれ
・県立耐久中学校第36期(昭和18年卒業)
・元和歌山県職員(薬剤師)
・現在、和歌山走ろう会、わかやまランニングクラブ、熱走湯浅ランニングクラブ 所属

文責 同窓会長 大西 義弘(高16期)

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

関西耐久会

耐え会 行こう行こうと 秋の声

関西耐久会総会・懇親会開催

平成26年10月5日(日)、ホテル大阪ベイタワーにまた、160人もの耐久高校卒業生が集まりました。

萩平温子さん(高10期)と菊山ひろみさん(高13期)のリードで「しのめなびく……」と校歌を声たからかに歌えば、そこはすでに耐久!

則岡宏牟新会長(高18期)の元気な挨拶に続き、大西義弘本部長(高16期)からお祝いのご挨拶をいただき、清水博行校長(高29期)からは現耐久のがんばりの様子をうかがいました。関東、和歌山、有田の耐久会から会長副会長のご出席は耐久会の結束の強さを感じ、湯浅町長、広川町長のご出席は懐かしい故郷を身近に思います。

メインは、「理科? 社会? 薬学? 歴史? 経済? 政治? 哲学?」をジョークというオブラートにくるんで、ゴックンと飲み込んだような講演会。1時間で、ずいぶん頭が



すつきり賢くなつたような気分になりました。そんなすてきな講師

は、高18期の成戸昌信様(現東レ顧問・工学博士)です。やさしいお人柄がお話の中にちりばめられていました。それに、50人以上の高18期の応援団を連れてきてくれました。

懇親会の乾杯のご発声は、元虎風荘寮長の梅本正之様(高7期)です。紀州の味覚も登場して、盛り上がってきたところに、大音響!! 本場ブラジルのサンバがやってきました。啞然とするみんなの間を踊り歩き、瞬く間に会場を陽気な雰囲気にしてしまいました。最後はステージで即席の踊り子たちと楽しく踊りました。

いつもの期毎の写真撮影。今回は何といつても高18期が最大出席者数。2位はいつもの高15期。高31・32期があわせて7名という若返りが何にも増してすばらしい。その若者たちが、力いっぱいエールを送ってくれ、西田賢一郎副会長(高12期)の閉会の挨拶で今年の関西耐久会は幕を閉じました。27年は10月4日(日) ホテル大阪ベイタワーで行います。則岡会長を中心に、幹事一同知恵を出し合い、楽しく少しためになる総会を計画したいと思います。ご出席お待ちしております。

幹事長 地引民子(高17期)



関西耐久会会長 則岡宏牟氏(高18期) 有田川町土生に「和歌山牟三荘」開設

駐車場からのシャトルバスから、家族連れ、バイク・車好きのおじさんたちが続々降りてくる。この時ばかりは、田舎の村里が人であふれる。公開は延べ10回を数える。多い時には2000人が来場した。

「牟三荘」は、関西耐久会会長の則岡宏牟氏が、自費でオープンした。約1500坪の敷地に、クラシックカー200台・ビンテージバイク150台を収容する二階建て展示倉庫、ライプハウス、立山から運んだ60人乗りのトロツコ列車がある。

則岡氏は、伊丹市で建築業を営む。若い頃からクラシックカー収集が趣味で、月給1万円の頃、7、8万円もする車も購入した。40年間コツコツ集めた車は300台を越えた。「これ



らの車を、故郷に展示公開したい、合わせて有田川町の活性化に役立ちたい」との願いを込めてテーマパークを完成させた。

大がかりな工事は専門業者に任せるが、他は則岡氏の友人や高18期の同級生がボランティアで手伝う。中でもトロツコ線路敷設は真夏炎天下の汗だく作業が3ヶ月続いた。

作業日や公開日は、女性陣の炊き出しもあり、さながらミニ同窓会となる。

「トロツコ列車の線路延長と小川にホテルを飛ばそう」すでにカワニナが放たれている。則岡氏と仲間たちのドラマは、まだまだ終わらない。

みなさん是非、一度「牟三荘」にお越しください。

坂本 康寛(高18期)

関東耐久会

「関東耐久会秋の行事」開催

秋も深まりゆく11月9日、関東耐久会は恒例の秋の行事を開催しました。前回の新歌舞伎座での歌舞伎観劇が好評であったこともあり、今回もまた歌舞伎観劇会となりました。

この日の演目は、「寿式三番叟」「井伊大老」「熊谷陣屋」。「寿式三番叟」は、厳肅さと躍動感溢れる五穀豊穡を祈る舞踊で、染五郎、松緑が華やかな衣装と若々しい舞で観客を魅了しました。「井伊大老」は、国難に立ち向かう男の心情と直弼の人間性を描いた名作で、中村吉右衛門演ずる直弼が、雪の降りしきる桜田門外で暗殺される場面は、歌舞伎の様式美の中に歴史的事件を見事に昇華させて圧巻で、感動の舞台でした。「熊谷陣屋」は、源平争乱に



材を取った、戦乱の世の無常が胸を打つ時代物で、熊谷直実は松本幸四郎。「吉例顔見世大歌舞伎」だけに豪華な顔ぶれで、『日本文化の華』歌舞伎を堪能した一日でした。

芸術鑑賞の後は、浜離宮を一望するレストランに場所を移し、絶品のフランス料理に舌鼓しながら和やかに歓談しました。今回の参加者は36名で、ご家族での参加や、初めて参加された方も交えて、賑やかな懇親会となりました。参加者からは、「この会はいいね」「とても楽しかった」「来年も楽しみにしています」との声が聞かれ、夕刻には朝方心配されたお天気もすっかり回復しての散会となりました。

参加して下さった方々にお礼を申し上げると共に、次回もより多くの方々の参加を宜しくお願い申し上げます。

最後に前郁夫幹事長の特別な御計らいで、レストランパステル亭にはとても良くして頂き心より感謝申し上げます。富山 節子(高20期)



有田耐久会

第12回有田耐久会ゴルフコンペ開催

平成26年9月10日(水)、有田東急ゴルフクラブに於いて、恒例のゴルフコンペを開催いたしました。今回は6組23名の参加と、いつもに比べて少し小規模の会となりましたが、参加者全員、気心の知れた仲間と和気あいあいとした楽しい一日を過ごしました。

今回は田尻満男さん(37年卒)がグロス80、ネット70・4で優勝されました。大西和彦さん(52年卒)もグロス80でしたが、年齢によりベストグロス賞も田尻さんとなりました。田尻さん、ダブル受賞おめでとございました。

また、有馬多寿子さん(44年卒)が今回初めて参加され、同級生の方4人で一日楽しんでいただいたようでした。女性の方も男性の方に負けずに多数参加していただき、会を盛り上げていただけたらと思います。

次回は、3月18日(水)に有田東急ゴルフクラブでの開催を予定しています。皆さんふるって御参加下さいますようお願いいたします。柏原 政夫美(高19期)

なぎの木を植樹

「なぎの木」を検索中に貴同窓会報「耐久」第34号を拝見いたしました。

私も定年退職後にボケ防止の一つにと、自分の名前(柳野)のルーツを勉強しています。

『夕日に映ゆる那者の海』が、何時頃の季節で、どのような色で、どのような景観なのかを観てみたいと思います。

40本の「柳の木」が、皆様の心の込められた掌で植えられたとありましたので、これから1000年の時を超えて、広川町の御神木として皆様と共に成長することと思います。

名古屋市在住 柳野 友栄

 株式会社 柏原運送 柏原 政夫美 (高19期) 〒643-0032 有田郡有田町天満 60-1 TEL (0737) 52-5235 FAX (0737) 52-5630	損害保険・生命保険・ ファイナンシャルプランナー事務所 和歌山FP総研 代表 川島 忠弘 (高37期・S60年卒) wfp-soken@ares.eonet.ne.jp http://wakayama-fp.com	小畑産業 株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbits.jp	 株式会社 和通 代表取締役 中田 実宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320	田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299
---	---	--	---	---

25 年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1. 収入の部

	25 年度予算額	25 年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	2,400,000	2,412,500	12,500	全日制236名＊10,000 定時制 21名＊ 2,500
会 報 広 告	100,000	113,440	13,440	会報 32・33 号広告代
会 報 協 賛 金	150,000	140,600	-9,400	有田耐久会他より
寄 付 金	200,000	149,764	-50,236	各期同窓会より
雑 収 入	30,000	26,761	-3,239	預金利息他
収 入 計	2,880,000	2,843,065	-36,935	
前 期 繰 越 金	1,918,459	1,918,459	0	
収 入 合 計	4,798,459	4,761,524	-36,935	

2. 支出の部

	25 年度予算額	25 年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	50,000	29,800	-20,200	役員会他
渉 外 費	50,000	46,590	-3,410	タイムス他広告費
負 担 金	50,000	31,000	-19,000	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	100,000	112,800	12,800	各支部総会出席旅費他
運 営 費 計	250,000	220,190	-29,810	
2. 活 動 費				
総 会 費	300,000	253,696	-46,304	総会諸費用
母 校 援 助 費	600,000	607,528	7,528	国際理解、全国大会出場祝、文化祭応援
同 窓 会 報 費	600,000	520,420	-79,580	会報 32・33 号印刷、封筒、郵送代
助 成 費	200,000	120,000	-80,000	各支部・期への援助
雑 費	150,000	133,041	-16,959	講演会謝礼他
活 動 費 計	1,850,000	1,634,685	-215,315	
3. 諸 費				
事 務 費	50,000	41,750	-8,250	切手、はがき、大封筒他
慶 弔 費	100,000	143,310	43,310	記念品他
払 戻 金	50,000	90,000	40,000	転出生
諸 費 計	200,000	275,060	75,060	
支 出 計	2,300,000	2,129,935	-170,065	
4. 繰 出 金				
基 本 金	240,000	243,118	3,118	利息増 きのくに信用定期へ
積 立 金	200,000	200,000	0	きのくに信用定期へ
同窓会館設立基金	500,000	501,753	1,753	利息増 ゆう貯へ
繰 出 金 計	940,000	944,871	4,871	
5. 予 備 費	1,558,459	0	-1,558,459	
支 出 合 計	4,798,459	3,074,806	-1,723,653	
次 期 繰 越 金		1,686,718		

同窓会会計について

※収入…25 年度は、入会金として全日制 10,000 円（26 年度より 5,000 円）・定時制 2,500 円を終身会費として頂いています。（中途転校・退学の場合は返金）他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。



高35期

高35期(昭58年卒)同窓会



年末からの厳しい寒波で寒い新春となった1月3日、第35期生(昭和58年卒業)の同窓会が有田市「橘家」で行われました。この学年は入学時495名で11クラスあり、10、11組はプレハブの教室でした。そんな大所帯だった私たちの同窓会が5年前の45歳の時に初めて開催され、「5年後、50歳の同窓会でまた会おう」との約束のもと、今回、同級生168名、恩師の先生方4名(小楨、原、小林、吉田先生)の総勢172名が参加し盛大に催されました。

まず受付で、名前と顔がわかるようにと卒業アルバム顔写真入りの名札を渡されるのですが、中にはその変わりように「えっ」と驚きを隠せない受付係もいたとか……。受付を済ませたあとは2組に分かれてスタジオで集合写真を撮りいよいよ会場へ。

会場では、何か5年前の同窓会が続いているような不思議な雰囲気、既に盛り上がりつつあるクラスもある中、田代利彦君が今年開催される『紀の国わかやま国体』をさりげなくPRする

るなど、流暢な司会でスタートしました。

はじめに幹事団を代表して大橋が開会の挨拶を行なった後、物故者への冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。その後4名の先生方を紹介し、代表で原秀明先生にご挨拶をいただき、吉田元重先生の力強い乾杯のご発声で同窓会が開催されました。

はじめはクラスごとに談笑していましたが、いつの間にかグラス片手に移動しながら、仕事のことや昔話に花が咲き、会場全体が、飲み、食べ、笑い、語らい、と大きな熱気に包まれ、背中に汗がにじむほど暑くなっていました。

ビンゴゲームでは、お年玉やアメリカから出席してくれた柳瀬隆君からの景品もあり、ビンゴカードを手に、進行の林猶人君が読み上げる数字に一喜一憂する楽しい時間となりました。その後、気がつけば知らないうちに時間が過ぎ、「5年後、55歳での再会」を約束して、1次会がお開きとなりました。

2次会は引き続き同じ会場で行われ、ほとんどの同級生が残りクラスやクラブごとに写真を撮ったり、しゃべったりと疲れを感じることもなく盛り上がりつつありました。まだまだ話し足りない、飲み足りない、名残を惜しむ愛すべき仲間たち。やがて、窓の外が薄暗くなる頃3次会、4次会へ。時間の経つのも忘れて、長いけれども短い1日が終わりました。

最後になりましたが、今回の開催にあたり同窓会事務局の方々には大変お世話になりました。また、22名の各クラス代表の幹事の皆さんお疲れさまでした。そして、出席してくれた同級生の皆さん、素敵な50歳でした。楽しい時間と元気をありがとうございました。

幹事代表 大橋 真人

高8期

高校8期 喜寿祝い同窓会

昭和31年卒業以来、この度5度目の同窓会は77才喜寿を迎えての開催でした。

平成26年11月8日(土) 大阪あべの「都ホテル」で開催しました。卒業以来59年になります。女性31名男性18名の49名の出席でした。

11時の受付にも早い方は前日から、湯浅からは貸し切りバスで9時30分に到着。隣接のアベノハルカスへ朝のオープン早々昇ってこられた方、毎回出席の方、初めての方、遠方、近隣からと5階フロアーでは11時の受付を待たず、それぞれ交流の輪が広がっていました。

受付にて、名札、名簿(出席者一覧・物故者、お土産が配布され、8人掛け、9人掛けに着席。開会に先立ち、司会の中井由純さんより、幹事長の場野君が10月下旬に心筋梗塞で緊急入院されたことが報告されました。集合写真は賑やかに約10分撮り終え、各テーブルに落ち着いたところで、幹事長代行の三浦の開会の挨拶。

同窓は245人です。不明者、物故者に黙祷があり、原猛さんの乾杯の音頭で宴となりました。宴のなかば、それぞれの現況報告、関西地区在住の青石弘さんから地区情報、「関西耐久会は毎年10月第一日曜日開催」を宣伝を兼ねて挨拶。関東地区は北野正治さんから「関東耐久会のこと、行事がある度に集まる」。高木綾乃さんから

coffee & restaurant
DONKEY
ドンキー
上山哲司(高28期)
湯浅町駅前通商店街 TEL.62-3135

則岡 宏 牟
(高18期)
www.sunnyside-nn.net

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイキャンコーポレーション
取締役会長 岡 伸彦(高14期)
代表取締役 岡 勇作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL.06-6954-0346
FAX.06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウス ゆあぞ
横 山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

丸新本家
1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1466-1
http://www.marushinhonke.com
湯浅醤油(有)
1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464
http://www.yuassyayouyu.co.jp

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)



高63期

第63期同窓会



私たち63期卒業生は1月3日に高校卒業後初めて同窓会を行いました。これまでクラス毎や一部のメンバーでの集まりはありましたが全体で行うのは初めてでした。その同窓会までの経過と当日の様子を報告します。

活動は平成26年6月上旬からスタートしました。SNSのLINEというアプリを用いて連絡をとりあいました。LINEのグループブートという機能があり、そこにメンバーを招待してみんなとの連絡を円滑に進めました。第一回目の会議を7月20日に有田川町のアレックで行いました。9月27日にも集まりました。一組は会場設営、二組はスライドショー、三組は企画、四組は葉書など、五組は代表幹事、六組は司会といった感じで役割を分担しました。

そして当日。受付では少しでもみんなが懐かしめるようにと、幹事はみんな高校の制服を着用。制服を着たのも3年半ぶり、高校生にもどった感じがした。久しぶりに会う同級生や先生方。元担任の先生方はたいいの方が退職されておりました。お世話になった先生方は、4年の月日が経ちましたがお元気で何よりでした。個人的にはサッカー部の顧問だった平松猛先生に会いたかったものです。同級生は社会人になり、少し落ち着いた子や、進路に悩む子、この春先から新たな一歩を歩みだす子。色々な人がいました。みんなの話を聞いて自分もよしとしなさいといけなさいと感じました。ただ先生

方は、教え子のそういう姿を見られてとても嬉しそうでした。まだまだ、私たちは先生方にとつたら子供みたいなものなんですよ。

この同窓会を通して、私は参加してくれたみんなからの「企画してくれてありがとう、お疲れ様」という言葉がとても嬉しかったです。先生方や同級生が喜んでいて、姿ついているのは本当に良いものです。幹事達にしか分からない喜びなんです。苦勞を知っていますが、それを達成することを感じる喜びがあることを覚えておいて欲しいと思います。

卒業して早や4年、平成23年卒業生の同窓会を1月3日に橘家にて開催しました。会場では、幹事団が卒業生135名と恩師である先生方十名(田津原、水野、川村、西川、那須、秦、宮崎、白井、川久保、種治)をお迎えしました。

同窓会は、六組幹事の松元君の司会で進められ、まず、硬式野球部卒業生が舞台上上がり、高校時代さながらに校歌を熱唱しました。その後、秦先生の乾杯の音頭で同窓会が開かれました。ビンゴゲームでは、三組幹事の山下君と廣井さんの司会のもとバリスタなど豪華景品をめざして、皆さん大盛り上がりで参加していました。二組幹事の北君が製作したビデオレターでは、懐かしい校舎や行事(修学旅行・ロングハイキング・球技大会・体育祭・文化祭)、また昔の恋人との写真が流れると、思い出がよみがえり笑いや感動が溢れていました。一組幹事の的場君、黒崎さんの司会で「一組幹事の決定する「ミスター耐久・ミス耐久決定式」では、参加者から事前に行ったアンケートの結果が発表され、ミスター耐久には四組卒業生の宮下君、ミス耐久には五組卒業生の佐野さんが選ばれ、会場は歓喜の声が上がりました。

今回の同窓会に参加した全員が「また同窓会をしたい」と思ったことでしょう。私たちのほとんどが今年の春から社会人となります。このような仲間や先生方との素晴らしい出会いや思い出を大切に新たな道を歩んでいきたいと思えます。さらに成長した姿で再会できることを心から願っています。

幹事 中尾 真也



は「関東は少人数ながら度々逢っている」。有田地区の栗山長治さんからは日頃の情報、「元気で健康である」というお話。そして高齢となった今、私たちは日々どう過ごせばいいのかを医師の立場から楠林哲次さんの「加齢のすごし方について」のお話。引き続いて、欠席通知の方々の近況報告は宝本悦子さんのしっかりとて柔らかなナレーションで心地よく受け止めることができました。

3時間という時間はアツという間に過ぎ、湯田豊雄さんの閉会の挨拶と又いつか元気な再会を願って一本締めで閉会となりました。

次回は「いつ」「どこで」を決めないで、元気な方やる気のある方がお世話下さることを願っています。

幹事長代行 三浦 敏和

Total Printing System
ICHIJYO
株式会社 一条

和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 Tel.073-423-6950
(市民会館前) Fax.073-423-6955

金山寺普願造元
太田久助吟製

太田 庄輔 (高15期)

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町北町
TEL (0737) 62-2623
FAX (0737) 62-4811

日本料理 **うさ丸**

前田 利三 (高12期)

有田郡湯浅町庁舎前
TEL 0737(63) 2929



橘 本
Wedding Hall
TACHIBANA

橋 爪 正 文 (高39期)

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaaya.jp>

〒649-0434 有田市宮原町新町17

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

絆

部活OB・OGたちの

軟式野球部の巻



僕たち軟式野球部は現在十九人(内マネージャー一人)で、顧問の先生方とともに近畿大会優勝を目指し、日々練習を積み重ねています。

昨秋の十月二十五日から行われた秋季近畿地区高等学校軟式野球大会県予選では、危ない試合場面もありましたが、何とか新宮高校に3-0で勝ち、優勝することができました。このような喜ばしい結果を得ることができたのは、自分たちが単に頑張ってきたということだけでなく、昨夏の南部高校戦での悔しい敗戦もあると思います。この日以来、常に南部高校という名前を出し、練習に励んできました。その結果、一回戦では南部高校と対戦し、延長戦の末、3-2で勝つことができました。まさに、チーム一丸となって掴み取った

勝利だったと思います。この勢いが最後まで続き、県大会で優勝することができたのだと思います。そして、2年連続近畿大会出場を果たしました。

近畿大会の初戦は、名門龍谷大学付属平安高校で、4-1の引き分けの末、軟式野球大会の規定により二回戦に進出することができました。二回戦は神港学園神港高校と対戦し、投手戦の末、1-0で勝利しました。決勝は、雨が降る中、大阪の長尾高校と対戦しました。悪天候のため中断もあり、軟式野球ではめずらしい乱打戦になり、何とか全力を出し切り戦いました。が、4-6で敗れてしまい、一昨年に引き続き悔し涙を飲みました。

しかし、チーム一丸となって戦った結果、準優勝という素晴らしい成績を残すことができました。胸を張りたいと思います。

この大会を通して、誰もができるとは限らない貴重な経験をし、人に対する礼儀やおもてなしの精神、道具の大切さなど、当たり前のことでありますが改めてさまざまなことを学ぶことができました。この冬のシーズンでは、春季大会優勝・春季近畿大会優勝という目標に向かって、また一から練習に励んでいきたいと思えます。これからも応援よろしくお願いします。

(軟式野球部員二年生)



『地域の絆で死者ゼロの奇跡!』

昨年十一月、長野県北部最大震度6弱の大地震が発生。被害規模は白馬、小谷(おたり)、小川の3村を中心に重軽傷者46名、建物の全半壊141戸、一部損壊1426戸に上った。しかし死者はゼロ。そこには地域の絆があったと新聞、テレビが報じた。

地震発生は午後10時過ぎ、床に入ったAさんの上に2階が床ごと落下し下敷きに。しかし、安否確認に回っていた近所の人たちが発見、油圧



同窓 俳壇

・戦や太くて長き生命線

前 寿二 (高13期)

・初鏡 皺も風格 面輪かな

半 辺 みつ子 (高18期)

同窓 歌壇

・高三のわが歌載りし文芸部文集

「麻裳」書架に埋もれて(母校の思い出)

戎 和男 (高7期)

・この星の同じ時代に生まれ来て

言葉を交わす縁の奇跡

下 野 春 代 (高20期)

『編集後記』

真健美は、耐久建学の理念で、自主自学の学風は耐久の誇りでした。勉学に励み、身体を鍛え、感性を磨く。人格形成の礎といえるでしょう。今、認識を新たにしたいものです。

今年は戦後70年、67期の267名が、平和と成熟社会の未来という課題を担って巣立ちます。幸多かれと祈ります。

会報35号は、表紙にこだわりました。編集委員のカメラ自慢が、郷土の風景を撮りましたが、今回は稲むらの火を掲載しました。

特集は、89歳で現役の馬拉ソンランナーとして活躍されている上野山馨氏に大西会長がインタビューしました。長くランニングを趣味にされ、60歳で初めてフル馬拉ソンに挑戦、今も一日20kmを走り大会に備えているそうです。まさに「健康寿命の鑑」、勇気をもらいました。いつまでも頑張ってください。

関東耐久会・関西耐久会は、行事や懇親会で大いに盛り上がりさらに結束を固め、各期同窓会では、旧交を温めあっています。なお、関西耐久会は則岡宏幸氏が新会長になりました。横山享前会長、永年ご苦勞様でした。

「絆」の欄は、「軟式野球部の巻」ですが、昨秋の近畿大会で準優勝の戦績をあげています。健闘を称えます。

投稿された皆さん、ありがとうございます。2回、会報を発行しているのは耐久だけだそう。より充実した楽しい紙面にするため皆さんの投稿をお待ちしています。

胸を張り

通ひなれたる

この道は

明日から歩く

術をば記す

